

愛知山岳

愛知県勤労者山岳連盟機関紙

2023年4月20日発行

No. 599号 (第55期 2号)

〒454-0055

名古屋市中川区十番町 2-8

栄和産業(株)ビル 2F

TEL/FAX 052-654-1411

<http://aichirousan.web.fc2.com/>

一般向け登山講座 開講しました。



第55期一般向け登山講座を3月25日(土)開講しました。開講に先立ち、スタッフ、講師の予定者が集まり10時30分より開講式と打ち合わせを行いました。今年度の講座は辞退者もあり12名でのスタートとなりました。

午後の開講では佐藤理事長の挨拶の後、講座①基礎編・山に入る前に——山に入る姿勢、食料、講座②“山の天気”——を行いました。講座①の講師は同志会・吉川、講座②の講師はみどりの会・気象予報士の藤野さんで務めました。講座の後には4月2日実技山行、宮路山～砥神山の山行計画の案内を行い、初日を終了しました。次回は4月8日(土)講座③地図の読み方・使い方、です。(次頁につづく)

《目次》

	一般向け登山講座 開講しました。	1
	第55期登山学校 4月2日から開講。	2
遭対部	3月31日(金)第55期第1回遭対担当者会議の報告	3
〃	4月7日(金)第55期春山合宿遭対連絡会議 開催	4
教育部	3/23(木) 第1回教育担当者会議を開きました	5
〃	教育部交流山行 4/9(日) 釈迦ヶ岳交流山行に行ってきました	6
自然保護部	第55期第1回自然保護担当者会議の報告	6
女性部	4月13日(木)に女性部会を開きました。	7
組織部	各会の一般向け登山講座の紹介	8
〃	第55期 第2回 組織担当者会議	10
〃	公開講座のご案内	11
	年間カレンダー	12

(表紙からのつづき)

今年の受講生は平均年齢 49 歳、これから登山を始めたいなど初心者と見られる方 8 名、基本的な事を学びたい方 4 名、仲間と安全に登りたいという方 2 名(重複集計)など、登山の楽しみがこれから、という方が多く、また山岳会に入会希望が 6 名と、前途洋々とした受講生が多いのが特徴と言えます。

実技山行報告 一般向け登山講座 4月2日(日)

4月2日には実技山行①を東三河の宮路山～砥神山にて実施しました。参加者は受講生 12 名中 10 名、第 54 期受講生 1 名、リーダー、スタッフは地元東三河山ぽ会をはじめ 10 名、計 21 名でした。

山行は 8 時 30 分に名電赤坂を 3 パーティに分かれて出発、衣服調整を行い鎮魂碑、宮路山縦走路の植林帯などで休憩しながら、五井山着。三河湾、豊橋・蒲郡などの展望を楽しんで、記念撮影。国坂峠へは沢沿いの急下降と御堂山への急な登り返し、キャンプ場での芝生の小休止など変化に富んだコースを砥神山に至りました。砥神山では小ピーク三か所での眺望を楽しんで全員無事に JR 三河三谷駅に到着しました。

道中では、同じパーティの参加者と会話を楽しみ交流を深めることができ、また、ザックの担ぎ方などを教え合うこともできました。(記：吉川)

第 55 期登山学校 4月2日から開講。

55 期登山学校の理論「労山運動の理念」を県連事務所でオンラインを併用して行いました。

講師は、半田ファミリー山の会代表、洞井孝雄さん。受講生は、クライミングコースのみで、犬山マップ 1 名、春日井峠 2 名、スルジェ 2 名、じねんじょ 4 名、若駒 1 名、ASC1 名、くらら 1 名の合計 12 名、ZOOM オンライン 2 名、コーチスタッフなど 10 名。

午前は、愛知県連の登山学校の現在に至るまでの歴史や、登山学校の目的である、登山全体のリーダーになってもらう、会の運営に携わってもらう人を担うこと、また、2020 年の新型コロナウイルス感染により、活動が止まり、経験したことがないことが起こった。山小屋の運営も難しくなり、元に戻ることは難しい状況がある。一方、低山では人が集まるようになった。単独登山の事故者も増えている。いまは、多くの方がショップや WEB での講座で登山の技術を知ることが出来るが、知識と現実が繋がっていない。この繋がった登山を教えることが重要。趣意書は、自分たちがどういう活動をするのか宣言をする文章であり、これを具体化して活動してきている事を学びました。また、趣意書では、前文、1. 権利としての登山、2. 登山の多様な発展、3. 海外登山の普及、4. 遭難事故の防止、5. 自然を守るについて、項目ごとに学びました。午後からは、登山の計画と下山までの講義で、計画書の意味、装備の役割、使い方などツェルトの使い方や危険個所の通過などを学び終了しました。



55期登山学校 講師のご紹介

コーチ 洞井（半田）、森（東三河）、岩田宗（じねんじょ）、板倉(ASC)、清水（あつた）、大谷（じねんじょ）、三宅（じねんじょ）、三島（じねんじょ）、伊藤（じねんじょ）

AC 多賀（あつた）、岩田好（じねんじょ）、野村（じねんじょ）

スタッフ 肆矢（あつた）、白水（かわせみ）、樋口（同志会）、加納（半田）

研修生 中貝（ふわく）、伊藤（じねんじょ）

事務局 清水、肆矢

遭対部 3月31日（金）第55期第1回遭対担当者会議の報告

2023年3月1日（金）県連事務所で19:30より、第1回遭対担当者会議を開き、9山岳会11名が参加しました。【参加者】高井（春日井峠）、洞井、細江（半田F）、神崎、樋江井（若駒）、名倉（くらら）、松本（東三河）、神谷、堀(ASC)、上平（みどり）、廣田（同志会）、佐藤（あつた）

1. 55期の遭対部活動方針を確認しました。

【第55期活動方針】

- ①合宿遭対連絡・報告会議を開催します
- ②確保技術講習会・無雪期・積雪期救助訓練、救命救急法講習会を実施します
- ③東海ブロック雪崩講習会を実施します。④事故の分析、救助方法などを学びます。
- ⑤事故事例集（第2集）の普及⑥救助交流会に参加するなど、新しい救助技術の吸収と普及に努めます。⑦救助隊要員の組織化に努めます。⑧講習会等に使用する装備を購入・更新

第55期会議・講習会予定日

遭対担当者会議 ①3/31（金）②6/2（金）③9/8（金）④11/10（金）⑤2/2（金）

1月22日（月）積雪期救助訓練（机上）2月4日（日）積雪期救助訓練（実技）

4月7日（金）春山合宿連絡会議 5月12日（金）春山合宿報告会議

7月7日（金）夏山合宿連絡会議 8月25日（金）夏山合宿報告会議

12月8日（金）冬山合宿連絡会議 1月19日（金）冬山合宿報告会議

2. 各種講習会については、県連遭対部佐藤まで申し込んでください。

6月5日（月）確保技術講習会（机上）6月18日（日）確保技術講習会（実技）

6月12日（月）無雪期救助訓練（机上）6月25日（日）無雪期救助訓練（実技）

6月24日（土）救急救命法

11月12日（日）東海ブロック雪崩講習会（机上）1月13日（土）～14日（日）（実技）

3. 全国連盟 2023年7月8日（土）～5日（日）全国救助技術交流集会 小樽市

要項がわかり次第、遭対部で検討する

4. 各会春山合宿進捗状況について話し合いました。

コロナウイルス感染が5類に替わる中ではあるが、元には戻る事は難しく、山小屋、テント場の予約は制限されている。今年は雪解けが早く雪山も限定されるのでは。などの意見が出されました。

5. 救助隊要員登録の再登録

ここ3年、救助隊要員の登録がされていないので、再登録をお願いしたい。

6. 登山届をコンパスですると、全国連盟より労山の労山基金の対象になると言っていたが、これを会で行なうとすると規約変更が必要。万が一事故が有っても当該山岳会が知らないでいいのか。登山届と計画書は違うのでは。これは会では出来ないなどの意見がでました。

4月7日（金）第55期春山合宿遭対連絡会議 開催

山岳会		山城	コース	日程	人数
名古屋山歩会		八甲田山	4/19 城ヶ倉温泉＝田茂菴岳～毛無岱～城ヶ倉温泉 4/20 登山の場合 城ヶ倉温泉＝田茂菴岳～毛無岱～避難小屋～大岳～避難小屋～毛無岱～城ヶ倉温泉 4/21 登山の場合 城ヶ倉温泉＝酸ヶ湯～仙人岱～大岳～仙人岱～酸ヶ湯＝城ヶ倉温泉	4/18 ～ 21	3
東三河山ぼ会	A	丹沢山	寄自然休養林～5月12日（金）春山合宿報告会議鍋割山～塔ノ岳～丹沢山～檜洞丸～加入道山～西丹沢自然教室	4/22 ～ 24	6
	B	武尊山	高手登山口～剣ヶ峰山～武尊山～剣ヶ峰山～高手登山口	4/28 ～ 30	3
	C	火打山	笹ヶ峰牧場～高谷池ヒュッテ～火打山～高谷池ヒュッテ～笹ヶ峰牧場	5/3～5	5
	D	火打山	笹ヶ峰牧場～高谷池～火打山～高谷池～笹ヶ峰牧場	5/3～4	5
	E	飯縄山	飯縄山登山口～飯縄神社～飯縄山～飯縄神社～飯縄山登山口	5/5	5
	F	阿蘇山・祖母山・久住山	砂千里登山口～高岳～砂千里登山口・祖母山上原登山口～祖母山～祖母山上原登山口・牧ノ戸峠 [Ⓟ] ～久住山～牧ノ戸峠 [Ⓟ]	5/3～6	7
	G	飯野山・剣岳	飯野山登山口～飯野山～飯野山登山口・見ノ越登山口～大剣神社～ジロウギユウ峠～次郎笈剣山～頂上ヒュッテ～飯野山登山口	5/3～5	9
半田ファミリー山の会		南伊豆	石廊崎オーシャンパー（←→石廊崎）～中木～入間キャンプ村～千畳敷入口（←→千畳敷）～吉田	4/29 ～ 30	15
		北アルプス 燕岳	中房温泉～合戦小屋～燕山荘テント場～燕岳～テント場～合戦小屋～中房温泉	4/29 ～ 30	6
じねんじょ山の会		北アルプス 爺ヶ岳	柏原新道登山口～ジャンクションピーク～爺ヶ岳～ジャンクションピーク～柏原新道登山口	4/29 ～ 30	5
名古屋山岳同志会		立山 別山・雄山	室堂～雷鳥沢キャンプ場～剣御前小屋～別山～剣御前小屋～雷鳥沢キャンプ場～立山室堂山荘～一ノ越山荘～雄山～立山室堂山荘～室堂	5/3～5	10
あつた		鈴鹿セブン縦走	大貝戸登山口～藤原岳～竜ヶ岳～釈迦ヶ岳～雨乞岳～御在所岳～鎌ヶ岳～水沢岳～入道岳～椿大社	5/3～5	6
南アルプス		鳳凰三山	夜叉神峠登山口～夜叉神峠～南御室小屋～薬師岳～観音岳～地藏岳～夜叉神峠登山口	5/4～6	8

【出席者】：大谷（じねんじょ）、夏梅・廣田（同志会）、小栗・鈴木・洞井（半田F）、前田（かわせみ）、渡辺（山歩会）、神崎・樋江井（若駒）、森（東三河）、井上・佐藤（あつた）、8山岳会13名。

議題1.連絡会議では7山岳会14パーティの計画が出され、それぞれの計画書について、話し合い次のような意見、指摘がありました。

- ・立山では、スキーヤーも多くいると思うし、雪崩の事も考えビーコンなどは、必要。
 - ・小屋泊りの計画でも、行動中、不測の事態に対して対応できる装備は必要で、使う、使わないの問題ではないと思う。
 - ・入山時、時間が遅いと駐車場は混雑することもあるので、出来れば早く出発したい。
 - ・ガスの本数が少ないのでは？もう1つ必要。などの意見がありました。
- 今年は、高温傾向が続き、雪解けも早いようですが、天候の急変もありうるので、気象、装備に注意して安全登山をお願いしたいと思います。

議題 2. 2023 年主催者倍賞責任保険について

登山学校、公開ハイキング、などにおいて、万が一事故が有り、事故者から当該主催者が裁判などで訴えられた場合有効な手段です。詳細は労山全国連盟 HP をご覧ください。
締め切りは、2023 年 4 月 28 日まで

その他

5 月 12 日（金）春山合宿報告会議 県連事務所 19 時 30 分より

教育部 3/23(木) 第 1 回教育担当者会議を開きました

日 時：3 月 23 日（木）19 時 30 分～（zoom 会議で実施）

参加者：東三河（戸田）、くらら（吉田）、あつた（坂木）、かわせみ（野村、佐伯）、
みどり（兼子）、ありんこ（榊原） 計 6 山岳会 7 名

(1) 自己紹介

55 期最初の担当者会議で、全員で 1 年間よろしくと自己紹介をしました。

(2) 55 期総会議案の確認

55 期総会議案で、今期どのように活動していくかを確認しました。

(3) 今後の活動の確認等

① 県連行事への参加呼びかけ

- ・夏山にむけての講習会等のカレンダーでわかっている日程を紹介しました。

3/25～一般登山講座（組織部）

4/2～登山学校（コーチ会議）

6/5 確保技術講習会（遭対部）

6/12 無雪期救助訓練（遭対部）

6/24 救急救命法講習会（遭対部）

6 月の講習会等は、労山愛知で実技の日程も含めて周知がされますので、各会員のみなさんへ参加の呼びかけもお願いしました。

② 交流山行の参加の呼びかけ

- ・4/9 に教育部として交流山行をしますので、再度会員の方々に知らせていくことになりました。また、計画書案を送付して各会ごとに計画書を作成して参加してもらうこととしました。

③ 54 期雪山安全講習会の実技の報告

2 月に行われた雪山安全講習会の実技のアンケートのまとめを確認しました。

④ 各会が県連教育部にどのような活動（各会への支援等）を望んでいるかを具体的に話し合っ て実現につなげていこうと意見が一致しました。なかなかすぐには具体的な取組みの話しと ならなかったが、次回以降につなげていくこととしました。

(4) 次回の第 2 回教育担当者会議を 2022 年 4 月 27 日（木）に 19 時 30 分より zoom 会議で実施します
ので、各会から奮って参加をお願いします。

教育部交流山行 4/9(日) 釈迦ヶ岳交流山行に行ってきました

4月9日(日) 鈴鹿セブン釈迦ヶ岳にて教育部交流山行が実施されました。参加は、6山岳会15名(かわせみ2名、犬山マップ3名、みどり2名、峠の会6名、くらら1名、ありんこ1名)。フル装備の大ベテランから登山一年生の私などバラエティに富む構成で、各所で技術指導もしていただきながら、季節移ろう早春の山歩きを楽しみました。



朝明溪谷キャンプ場から庵座谷ルートに登り、釈迦ヶ岳～猫岳～羽鳥峰の周回コースを4時間半ほどで巡りました。スタートは満開の一本桜に見送られ、花崗岩のまばゆく白い溪流を渡渉、瀬音を聞きながら心地よい登山道を進みます。赤いヤブツバキがにぎやかに山をいろどり、白い溪谷と絶妙なコントラスト。しばらく歩くと前方に庵座の大滝。ここ数日の雨水を集めて、鈴鹿を代表するにふさわしい威容です。鎖場を上がって滝の直下から見

上げると、深いブルーの空から降り落ちてくるような滝の奔流が、斜面に咲き乱れるピンクのヤマツツジに寄り添われて、まさに絵のような美しさでした。

と、ここまでは早春の優美な景色に和んでいたわけですが、この後、ヒヤリハットの場面に遭遇することに！溪流から登山道に戻るその現場は、花崗岩特有のザレた礫混じりの斜面で、取り付いてすぐ、少し触れただけでリンゴやメロン大の石が転がり落ちることが分かり、全員が間隔を空けて慎重に登っていきました。にもかかわらず、十人以上が登り切った頃合い、負荷が重なったためか斜面上方にあったミカン箱大の岩がズリズリと滑り落ち始め、バックアップを務めて下さっていた方の山靴の側面をガチッと挟み込んでしまいました。数人がかりでも靴は微動だにせず、結局靴紐を解いて足を抜き、岩を谷底に落として、靴を回収。幸い山靴は本格派の固い革靴で、足は守られ靴も無事でした。ご本人の分析では要因は三つ。即ち、一つ目は人為的要因。注意はしていたものの、心に緩みがあった。二つ目は行動。足の置き場を誤ったこと。三つ目は環境要因。降雨降雪で地盤がゆるんでいたこと。とにもかくにもお怪我がなくて一同安堵しました。もしかしたら一番強い人を選んで石を落とし学びの機会を与えて下さったのは、釈迦ヶ岳の慈悲だったのかもしれない。

そのあとは気を取り直して山頂へ。前夜の降雪で北斜面はまだらに薄化粧。木々の幹も北側に白い雪のストライプを付着させて粋な装い。ただ、晴天にもかかわらず稜線は北風が吹き付けて冬を思わせる寒さでした。それでも目を細めに開けて眺望を楽しんだり、猫のオブジェを写真におさめたりして、ザレ斜面に足を取られながらもゆるゆると下山しました。

朝明溪谷に下りると新緑の鮮やかさがひときわ目に染みしました。山頂では新芽を枝先に蓄えつつもまだ寒々とした木立ばかりだったせいも、山里のふくよかな春の息吹に心がほぐれました。最後に、春のような温かい笑みを絶やさず山を楽しませてくださった諸先輩方に感謝申し上げます。(春日井峠 佐々木)

自然保護部 第55期第1回自然保護担当者会議の報告

県連事務所 19:30～

参加者：山田(同志会)、水野(ASC)、白水(かわせみ)、佐藤(あつた)

(1)第 55 期活動方針の確認をしました。

①藤原岳のハルザキヤマガラシ駆除、調査作業を実施。

5月21日(日)、6月4日(日)、6月18日(日)の3回予定

②第51回鈴鹿山系清掃登山を6月の第一日曜日に実施。

6月4日(日) 御在所岳・藤原岳の両山域

③秋の清掃合同ハイクを実施。

④清掃登山以外の自然保護活動にも努める。

各会で取り組まれている自然保護活動を知らせていく。

(2)会議日程 (ZOOM を併用)

自然保護担当者会議

①3/17(金) ②7/14(金) ③9/15(金) ④10/6(金) ⑤11/17(金) ⑥12/15(金) ⑦1/26(金)

清掃登山実行委員会

①4/4(火) ②4/18(火) ③5/9(火) ④5/23(火) ⑤5/30(火) ⑥6/4(日)

4/4日は中止、4/18日から清掃登山実行委員会を行います

(3)自治体交渉日程

4月中旬頃に、菰野町、御在所ロープウェイ、いなべ市を訪問

(4)清掃登山ポスター作製は、あつた労山に依頼

(5)全国集会

6月17日から18日 全国自然保護担当者会議 埼玉県秩父郡「長瀬荘」

WEB で講演会参加可能

17日 13:10~15:20 森 光順氏 (元環境相山岳レンジャー)

女性部 4月13日(木)に女性部会を開きました。

出席は5山岳会5名(くらら、若駒、あつた、みどり、春日井峠)

検討課題

1. 山筋ゴーゴー体操開催について

全国では「1 day サポーター養成講座」の開催を推進しているが、最初から養成講座ではハードルが高く感じる。再度、「山筋ゴーゴー体操」講座を開催してから「1 day サポーター養成講座」に繋げるよう検討をおこなった。

下記のように日程を決定。

開催期日：2023年6月25日(日)

開催場所：県連事務所

開催時間：受付 PM13:30

講座開始 PM13:45~16:00

受講定員：30名

会費：500円(テキスト購入の方は別途200円)

申込み締め切り：6月15日(木)

→この日程で全国へ申込みをします。先生のご都合と山筋推進委員会の都合によっては開催日が変更になる可能性があります。

2. 女性部会日程変更について

6月8日部会開催を15日に変更する。山筋ゴーゴー体操の内容調整をするため。

→15日は理事会開催日にあたるため、現行どおりか22日に変更かメンバーへ確認中。

組織部 各会の一般向け登山講座の紹介

各会の一般向け登山講座の紹介をしております。
今月号は、じねんじょ山の会と半田ファミリー山の会です！

じねんじょ山の会登山講座2023

全日程参加出来ない方も、スポット受講が可能です。
(但し、実技山行のみの参加はご遠慮ください)

ふみだそう、一步を！ 高嶺を目指して

「山登り、やってみたいな！ テントに泊まって星を見たい……」
「どうしたら夢が叶うの？ どんなことを学べばいいのかな？」

この講座は、そんな夢を持つ人が、楽しく山に登り、無事に帰ってくる。そのために必要な、知識や技術を身に付ける一歩となることを目指します。

日程と内容(講座会場：一宮スポーツ文化センター)

日時	テーマ	内容	
4月9日(日) 13:30~16:30	講座①	山に入る姿勢 「なぜ、山に登るのか」	自分と山の関係を今一度、考えてみましょう。
	講座②	計画の大切さ 「計画書」とは？	安全な登山における計画の大切さを学びます。
4月15日(日) 13:30~16:30	講座③	登山の装備と食料、 歩き方	歩き方、登山に必要な用品・食料について その意味と使い方を理解します。
	講座④	「地図読み」	地形図の読み方、使い方、コンパスの使い方を 学びます。
4月16日(日)	実技山行① (貝月山)	実際に山歩きをしてみよう。	近郊の山と一緒に登山歩きを体験します。
4月23日(日)	実技山行② (納古山)	地図読みと現在地把握を 体験します。	実際に山を歩いて、地形図とコンパスを使って みます。
5月13日(土) 13:30~16:30	講座⑤	安全対策、セルフレス キューの考え方	登山の危険と安全対策・ロープワークについて 学習します。
	講座⑥	登山情報の収集と インターネットの活用	地図アプリや気象情報サイト、アプリについて 考えてみましょう。
5月21日(日)	実技山行③ (百ヶ峰)	危険箇所通過と セルフレスキュー	ロープやツェルトを使って危険回避の技術を体験 します。
6月4日(日)	実技山行④ (御在所峠)	自然保護山行	山というフィールドを見つめましょう。 仲間と一緒に登る楽しさを味わいましょう。
7月2日(日)	実技山行⑤ オブション	トレーニング山行 (伊吹山)	山登りに必要な体力を確認してみましょう。 (歩荷トレーニング体験)

*コロナ感染の状況で変更を余儀なくされることもあります。

- *受講料：6,000円 4月9日講座初日の受付時にお持ち下さい。
(実技山行時の傷害保険代を含みます。実技山行にかかる交通費は別途必要)
- *定員：10名(健康で意欲のある方なら誰でも参加できます。性別や登山経験は問いません。)
- *申込み：下記QRコードを読み取り、申込みフォームにご入力下さい。
- *締切日：2023年3月31日(金)

【お問い合わせ】じねんじょ山の会 脇田敏英

✉ toshiwakita55@rc4.so-net.ne.jp

☎ 090-2189-5077

申込みフォーム

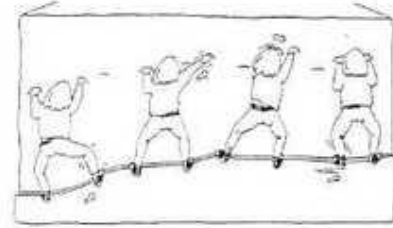
<https://forms.gle/kncuZqrGRGIVTSvMA>



**4月5日開講！ 27年目の半田ファミリー山の会の登山講座。
我流の登山から、きちんとした次のステップめざそう！**

半田ファミリー山の会登山講座 2023

「基礎から学ぼう安心登山」



ここ数年、コロナ禍のもとで、新しく山登りを始めたひとが増え、近場で近郊の低山に、たくさんの初心者が集中し、そのことを反映してか、知っていれば十分防げたはずの山の事故が増えていることが報告されています。

山々は新緑の美しい季節を迎えます。コロナ以前とは大きく様変わりした山で、これからどんな山登りをしていくかを考えながら、安心・安全に登山するための登山の基礎知識・技術を学びましょう。新しく登山を始めたひと、これまで我流で登っていたひと、これから始めたいひとに、ぜひ受講していただきたい講座です。

日程と内容 (理論講座の会場はすべて雁宿ホール。19時30分開始です)

No.	日程と会場	テーマ	内容
理論①	4月5日(水)	計画①／登山の楽しさと計画の重要性	登山の意味と楽しみ。登山界の現状、登山における計画の大切さを学びます
理論②	4月12日(水)	計画②／登山の装備と食糧の実際	登山の装備の必要性や意味、使い方や食料の実際について理解しましょう
実技①	4月15日(土) ▲ 鈴鹿・鎌ヶ岳	まず、山に登ってみようーこれが“登山”です！ 参加しないと後悔します	近郊の山に登って、“登山”を「体験」してみるところから始めます。こんな道もあんなコースもひととおりに体験します
理論③	4月19日(水)	地図の読み方・使い方ーGPSがあっても、最後に頼れるのは……	地図と磁石は山登りの基本。地形図の読み方・その使い方を学びます。(コンパス、マーカーペン持参のこと)
理論④	5月10日(水)	歩く技術とパーティー行動の基本	疲れない歩き方の技術と、パーティー行動のルール、マナーを考えます
実技②	5月13日(土) ▲ 八ヶ岳・編笠山	講座で学んだことを生かして登る。第一回目の実技とはまた違う山の一面を。	実技①より標高をグレードアップ。学習したことを検証しながら登りましょう。山城は変更することもあります
理論⑤	5月17日(水)	まとめー長く登山を続けるために	長く登山を楽しむためのノウハウ。登山の危険と安全対策、簡単な救急法なども

※ 理論講座と実技はセットです。実技だけの参加は認めません。

- ▲定員 20名(性別・経験は問いません。健康であること)
- ▲受講料 6000円(資料代含む。実技の交通費、保険料は実費)
- ▲受講申込 下記まで電話でご連絡ください。
榎原清文：090-4859-5023
またはメールで半田ファミリー山の会：info@hfmc.jp へ
- ▲申込締切 2023年3月29日(水)まで

第 55 期 第 2 回組織担当者会議

2023 年 4 月 13 日(木)

県連事務所：午後 7 時～9 時 00 分

出席者：あつた（松岡）、若駒(中橋)、春日井（落合）、同志会（吉川）、

Zoom：かわせみ(白水)、じねんじょ(後藤)、ありんこ（榊原）、みどり(下山)、
東三河(戸田)、

(今回事務所 Wi-Fi ルータの不調により Zoom 参加者にご迷惑をおかけしました。)

- 1) 組織数の推移・入退会理由——各一覧表にて確認した。
- 2) 労山運動の学習について ——前期積み残しで、連盟規約第 3 条、伊藤文書について進める。
6 月 1 日、担当者会議まで宿題、レポート・感想文・意見・質問を提出する。
学習は独習を進める。——自ら学ぶ姿勢を培う。
- 3) 第 55 期一般向け登山講座、——
 - ① 応募状況——12 名、(当初 14 名で 2 名辞退) 会への入会 1 名(同志会)。
準備状況ロジ表の作成を進める。
 - ② 実技山行、「危険個所の通過」の実施方法、場所——
下見——3 月 21 日(火)猿投山武田道。参加——落合、榊原、松岡、吉川、
武田道というあまり人の通らないコースの途中で岩場が少しあり、立木を利用してザイルフィックスできる。登りのプルーシックと下りの半マストの両方の練習ができる。岩の登る距離としては国見岳よりも少し長い感じ。
危険箇所通過用資材——の件。
昨年の講座のアンケートで、資材について最初に言って欲しかった、という趣旨の記入があり、県連で購入してレンタルを検討していたが、安全第一であるなら、ヘルメットの着用が先ではないか。——レンタルが 2500 円ほどで借りられるので、これを利用。
従前からのシュリング・カラビナはできるだけ購入してもらおう。資金余裕分は購入に充てる。
 - ③ 竹内教授の講演——テーマ設定、別稿のように決まった。公開講座として進める。
 - ④ 中間的な問題点。
リーダーがギリギリの人数となっており、人員の確保が課題。
受講生の確保——従前からの HP だけでは宣伝不足で、他の連盟・三重山好会を参考として、公的機関の後援を取り公民館などに掲示できるようにする。経緯の説明——総会資料、各会入会者数による。
- 6) 実務の分担——①組織数、入退会理由の集計担当——落合
②各会役員名簿のとりまとめ担当 ——後藤
③各会 HP の更新状況、チェック担当。——戸田

山の自然に親しむ講座

一般登山講座 公開講座

「山はなぜ高くなる？ プレート力は偉大だ！」

自分たちが慣れ親しんでいる（登っている）山々の成り立ち（山の歴史）を学ぶことは、山々を歩きながら足元を見つめ、一層興味深く山を眺めることができるでしょう。

会員だけでなく、友人・知人の方も含めて、誘い合って、奮って参加して下さい。

日 時： 6月 3日（土）13時～15時

場 所：愛知県勤労者山岳連盟事務所

参加費：500円

申込み：各会の県連理事もしくは組織担当の方を通じて、県連組織部（吉川）まで
（当日、直接参加でも大丈夫です。）

メールアドレス aichirousan@gmail.com

講演者：名古屋大学大学院環境研究科教授 竹内 誠 先生

【講演の内容】

日本の大地をつくる地層は、プレート運動に関係して形成された地層です。プレートが地球内部に沈み込む時にそれらの地層はどんどん隆起し、海で形成された地層が高い山頂に分布することがあります。

本講座では、まず、日本列島の地層の成り立ちを紹介します。さらに紀伊半島の北部台高山脈をなす山を例に、大断層によって隆起した山の岩石をみながら、プレートの力の大きさを感じてもらいます。

基礎編では山岳地域の地質調査、これまで調査・研究対象とされてきた北アルプスを例として、地質調査の方法や山岳地域の地質情報を得る方法を学びます。



（三重県中構造線沿い局ヶ岳にて、）

【編集後記】今年の鈴鹿は雪が少なかった上に、3月から4月前半は15年ぶりぐらいの降水量の少なさで、山はからからに乾いています。そのせいか、今の所はヒルをほとんど見かけてません。これから雨が振り出すと、お腹をすかせたヒルが一気に活動を始めるのかもしれない。ご注意ください！（事務局 井土）

ご意見、ご要望・投稿・写真などはメール、または県連事務所あてに郵送してください。

<http://aichirousan.web.fc2.com/> e-mail:aichirousan@gmail.com

Schedule 2023

5月			6月			7月		
1	月		1	木	組織担当者会議③	1	土	
2	火		2	金	遭対担当②	2	日	
3	水	(憲法記念日)	3	土	一般講座⑧	3	月	
4	木	(みどりの日)	4	日	清掃登山	4	火	
5	金	(こどもの日)	5	月	確保技術(机上)	5	水	
6	土		6	火		6	木	女性部部会⑤
7	日		7	水		7	金	夏山合宿連絡会議
8	月	登山学校理論	8	木	女性部部会④	8	土	登山学校 MC 全国救助技術交流集会
9	火	清掃登山③	9	金		9	日	登山学校 MC 全国救助技術交流集会
10	水		10	土	全国組織担当者会議	10	月	
11	木	女性部部会③	11	日	登山学校 C 全国組織担当者会議	11	火	
12	金	春山合宿報告会議	12	月	無雪期救助(机上)	12	水	
13	土		13	火		13	木	組織担当者会議④
14	日	登山学校 C 一般講座③	14	水		14	金	自然保護担当②
15	月	登山学校理論	15	木	理事会⑤	15	土	
16	火		16	金		16	日	
17	水		17	土		17	月	全国自然保護担当者会議
18	木	理事会④	18	日	登山学校 MC	18	火	全国自然保護担当者会議
19	金		19	月	登山学校理論	19	水	
20	土	登山学校 M 一般講座⑥⑦	20	火		20	木	理事会⑥
21	日	登山学校 M	21	水		21	金	
22	月	登山学校理論	22	木	教育担当者会議④	22	土	
23	火	清掃登山④	23	金		23	日	
24	水		24	土	救急救命法	24	月	
25	木	全国理事会 教育担当者会議③	25	日	登山学校 MC	25	火	
26	金		26	月	登山学校理論	26	水	
27	土		27	火		27	木	全国理事会
28	日	登山学校 C	28	水		28	金	
29	月	登山学校理論	29	木	全国理事会	29	土	
30	火	清掃登山⑤	30	金		30	日	
31	水					31	月	